



# 2月 園だより

令和5年2月1日  
第三ひもんや保育園園長

先日、みつばち組の子どもたちにお使いを頼みました。「保育園のお花が元気がないの。お散歩の帰りにお花屋さんでどんな花があるか見てきてほしいの」とお願いしました。すると「〇〇ちゃんは元気だよ」「(お花) 見てくるね」「いってきまーす」と意気揚々と散歩に出発しました。散歩から帰ってくると保育士の顔を見るなり「園長先生は何色のお花が好きなの」「あのね(お花屋さんには)ピンクとか赤、黄色あと白もあったよ」「どんな(種類)お花がいい」等々どの子どもも見てきたことを伝えたくて仕方がない様子です。「ありがとう。よく見てきてくれたのね」と声を掛けると誇らしげな表情を浮かべていました。子どもたちは頼りにされる嬉しさを実体験として味わっているようでした。与えられるだけではなく、自分たちも役に立つこと、自分たちで考えたり選んだりしたことが実現出来る経験を大切にしたいと思った瞬間でした。今月は節分や街ごっこなどの行事を予定しています。子どもたちの「やってみたい」という思いや「こうしたい」というアイデアを形にしなが、子どもたちの力が存分に発揮できるように関わっていきたいと思います。

また今月も懇談会を予定しております。保育園での様子をお伝えしながら、子どもたちの成長を共に喜び合いたいと思います。お忙しいことと存じますがご参加頂けますようお願いいたします。

## 2月の予定

節分集会  
街ごっこ  
懇談会(0歳児クラス)  
懇談会(1歳児クラス)  
懇談会(4歳児クラス)  
身体計測 …中旬(全園児)  
避難訓練 …中旬(全園児)

## 3月の予定

卒園式(5歳児)  
ひな祭り  
幼児お別れ遠足  
5歳お別れ遠足  
クラス移動日  
お別れ会



## 0歳児クラスの食育の様子



保育園はテラスや園庭に栽培物があり、子どもたちはいつでも触れられる環境にいます。自然と目に入ることで、野菜を身近に感じて興味を持ち、食べてみようとする姿につながっています。保育園の食育は日々の給食や栽培を通して、いろいろな食べ物の存在を0、1歳児クラスで知ることから始まります。まず知るということは、安心して食べられることにつながります。先日育てているブロッコリーを収穫しました。ブロッコリーと葉っぱを受け取り、嬉しそうに触れたり、調理室まで運び笑顔で調理さんに渡す姿が見られました。収穫したてのブロッコリーは綺麗な緑色に茹であがり、両手に持って食べている子どももいました。

後半になり、ほとんどの子どもが友達と共食しています。一緒に食べることで、友達の真似をして飲んでみたり食べてみる姿が見られ、互いに刺激を受けながら味を確かめ、好きな物や苦手な物も出てきています。この先、保育園の食育は皮むきや芋洗いの手伝い、自分たちで調理する等の活動につながっていきます。子どもたちにとって楽しい活動が食べる意欲へとつながり、食事が楽しみな時間になるように関わっていきたいと思います。



## まちごっこの取り組みの様子

幼児クラスでは日常生活で経験したことを再現して遊ぶ「まちごっこ」という行事に取り組んでいます。今年度は各クラスでお店を開いたり、お客さんになったりして楽しんでいきます。

### みつばち組（3歳児クラス）

#### 「みちばちマーケット」

みつばち組はまちごっこに初めて参加します。そこで子どもたち一人ひとりに「どんなお店屋さんがやりたい」と聞いてみると、悩みながら「ケーキ屋さん」「クッキー屋さん」「お寿司屋さん」などといったことのあるお店から「紅茶屋さん」「おもちゃ屋さん」など自分の好きなものを売るお店まで様々なアイデアが出ました。その中からどれにするのか子どもたちと一緒に考えましたが、子どもたちは自分の提案したお店がやりたいとうきうきしています。そこで保育士が「みんなの好きなものを売るお店にするのはどうかと提案すると「いいね」とほとんどの子が言い「みつばちマーケット」を開店することになりました。「いちごのケーキにする」「ストローのついたジュースにする」と張り切って品物を作っています。また「いっぱいないとなくなっちゃうよね」「〇〇も欲しいよね」とお客さんのことを考えながら作り、すっかりお店屋さんの気分になり楽しんでいきます。当日は好きな品物を持って帰ってもらえる予定なのでどんな素敵な品物があるかお楽しみに。



### とんぼ組（4歳児クラス）

#### 「スペシャルとんぼ映画館」

とんぼ組のお店は映画館で、子どもたち自身が映画のキャストになって演じます。音楽やライトなどのスタッフ役になりたい子もいて、それぞれがやりたい役割で活躍することになりました。「映画館にはポップコーンがあるよ」と誰かが言うと「チュロスも」「ポテト」と次々に案が出てきてフードコートも充実しています。ポップコーンは白いスポンジ材を切って絵の具で塗りました。キャラメル、いちご、塩の三種類で「おいしそう」という声があがるほどリアルに仕上がりました。映画はグループに分かれて4作品上映します。小さいクラスの友達も来ることを話すと「じゃあアンパンマンのお話もやってあげたほうがいいんじゃない」という意見がでました。他にもプリンセスや仮面ライダー、スパイダーマンと子どもたちの大好きなキャラクターたちが共演するオリジナルストーリーです。どんな映画になるのかとても楽しみです。



### かぶとむし組（5歳児クラス）

#### 「友達と協力しながら」

街ごっこに向けてクラスでどんなことをするのか、みんなで話し合いをしました。一人ひとりが意見をしやすいように、まずはグループごとで話すとお化け屋敷、お花屋さん、焼き肉店、遊園地などたくさんの意見が出てきました。その中から遊園地をやることに決まり、そこから具体的にどんなことをやっていくのか話し合い、お寿司屋さん、顔はめパネル、トロッコ列車、ゲームコーナーなどに決められました。トロッコ列車を考えたグループは、「段ボールで列車を作って持って歩く、窓から外が見えるようにしたい」「途中でコウモリを上から出してお化け屋敷みたいになりたい」などアイデアをたくさん出し合っていました。お寿司を作る時には「いつも何を食べていたかな」「エビが好きだから作ろう」とお寿司屋さんに行った時のことを思い出して友達と会話を楽しみながら作っていました。製作を進めていく中で「どうやったらできるかな」と友達と一緒に考えたり、遊びに来てくれる年下の友達のことも考えて、楽しみながら取り組んでいます。

